

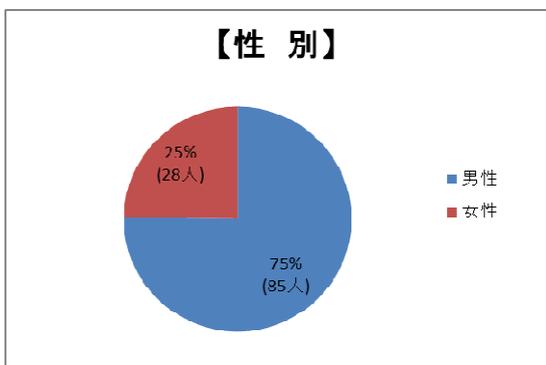
事後評価アンケート結果

整理番号	H30 - 1
------	---------

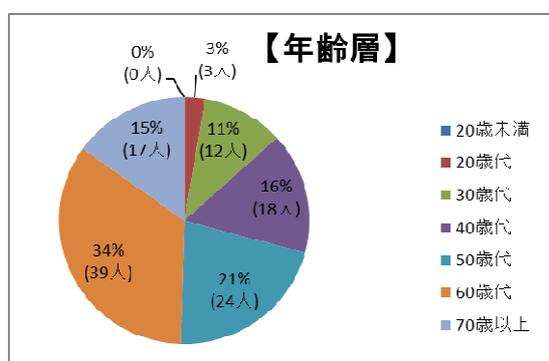
事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	箇所名等	上十川大川原線(黒石市)
-----	--------------------	------	--------------

アンケート対象	林道上十川大川原線の周辺集落(長坂1~3、大川原、黒森)地区の全世帯数		
配布方法	黒石市を通じ、上十川大川原地区近郊の町内会長へ事前協力をお願いし、直接訪問等により説明・協力を依頼した。	(配布部数)	190 部
回収方法	回収方法は、返信用封筒を利用し調査対象者から返送。	(回収部数)	113 部
回収率	59.5%		
アンケート結果			

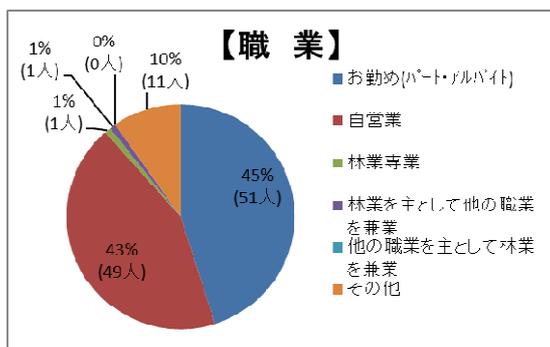
問1【性別】 有効回答113



問2【年齢層】 有効回答113

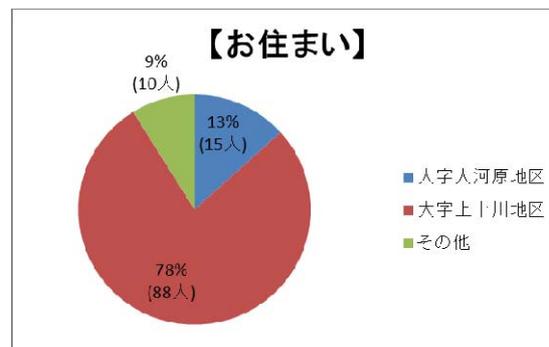


問3【職業】 有効回答113



自営業には、農業を含む。
その他には、農業、無職、建設業を含む。

問4【お住まい】 有効回答113



その他は、黒森地区 8名
南中野地区 2名
有効回答者113名は、全て黒石市である。

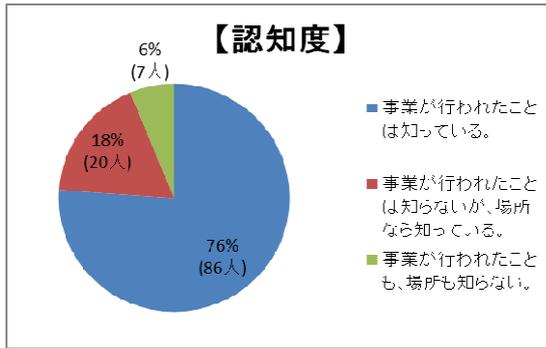
事後評価アンケート結果

整理番号	H30 - 1
------	---------

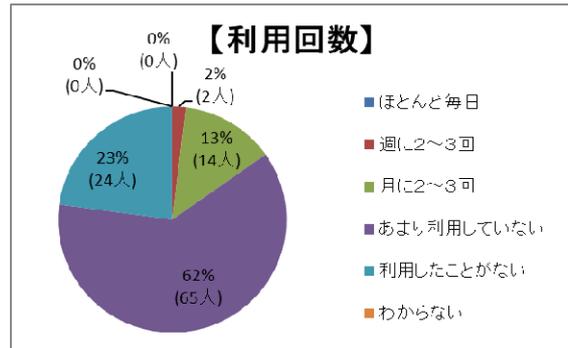
事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	箇所名等	上十川大川原線(黒石市)
-----	--------------------	------	--------------

アンケート結果

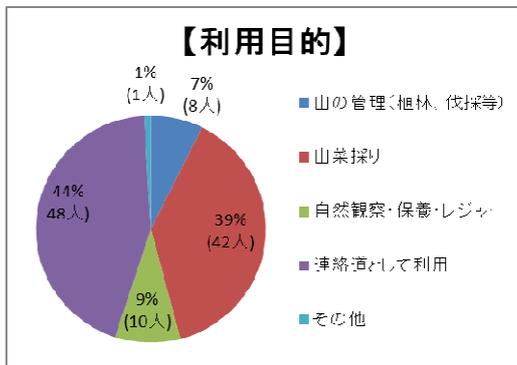
問5【認知度】 有効回答113



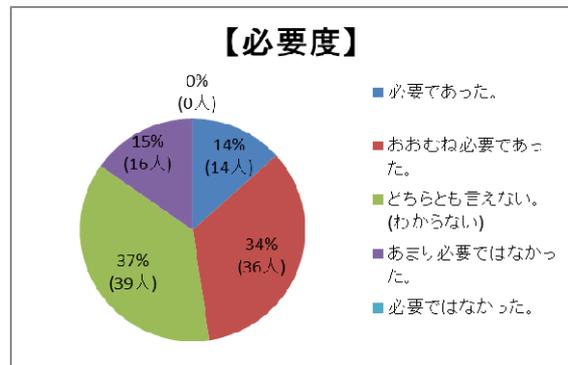
問6【利用回数】 有効回答105



問7【利用目的】 有効回答109



問8【必要度】 有効回答105



※ 複数回答可としました。

必要度の質問についての意見

【必要であった】への意見

- 六郷地区に抜けるのには必要な林道であると思う。今後は利用したい。(黒森地区の方)
- 将来の林業振興に役に立つ。
- 山菜採りの遭難防止。自然林の保護育成の重要性の認識。

【どちらとも言えない】への意見

- 林業関係の人には良かったと思うが、自分たちの地区にはあまり必要性がない。(南中野地区の方)

【あまり必要がなかった】への意見

- 利用する機会がない。

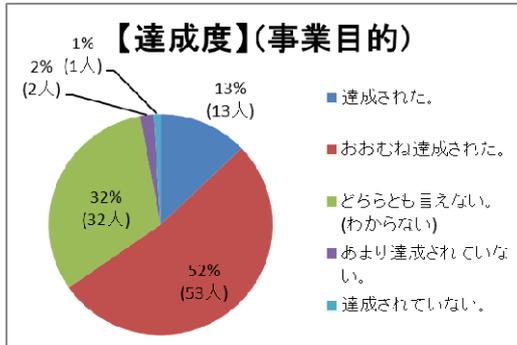
事後評価アンケート結果

整理番号 H30 - 1

事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	箇所名等	上十川大川原線(黒石市)
-----	--------------------	------	--------------

アンケート結果

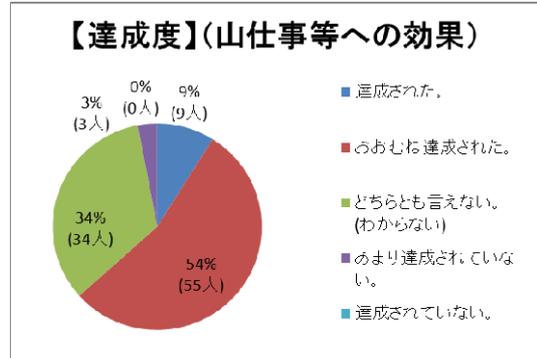
問9-1【達成度】 有効回答101



事業目的の達成度の質問についての意見

- 【達成された】への意見
○町内共有林・私有林の手入れの達成、人の往来等。
- 【おおむね達成された】への意見
○山菜採りに入る人が増えた。
○山には入りやすくなったと思う。
- 【どちらとも言えない】への意見
○道路を利用したという話をあまり聞かない。
- 【あまり達成されていない】への意見
○浄仙寺の所から一本欲しい。(黒森地区の方)

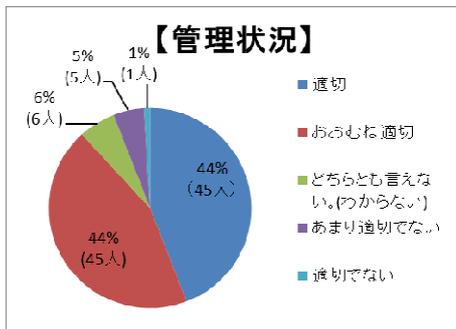
問9-2【達成度】 有効回答101



山仕事等の効果の達成度の質問についての意見

- 【どちらとも言えない】への意見
○林業関係の人たちには達成されたと思う。
○私有林が無いので、何とも言えない。
- 【有効回答外】の方の意見
○大川原迄出来た事をあまり知られていないのではないか。

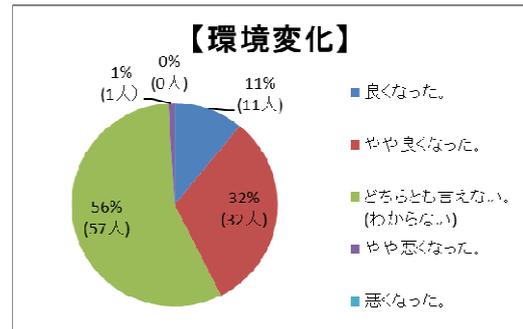
問10【管理状況】 有効回答102



管理状況の質問についての意見

- 【おおむね適切】への意見
○自然災害防止と管理により事故もなく経過しており、役割を十分果たしている。
- 【あまり適切でない】への意見
○倒木等の処理がなされていない。
○道路整備がダメ。
○側溝の泥あげ等適切でない。

問11【環境変化】 有効回答101



環境変化の質問についての意見

- 【良くなった】への意見
○幻の県道と近くなった。
○遭難事故がなくなった。
- 【やや悪くなった】への意見
○不燃ゴミの投棄。
- 【有効回答外】の方の意見
○この林道があることを知らない方が多いのでは。

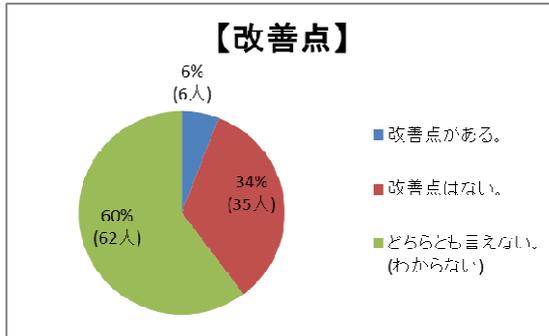
事後評価アンケート結果

整理番号	H30 - 1
------	---------

事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	箇所名等	上十川大川原線(黒石市)
-----	--------------------	------	--------------

アンケート結果

問12【改善点】 有効回答103

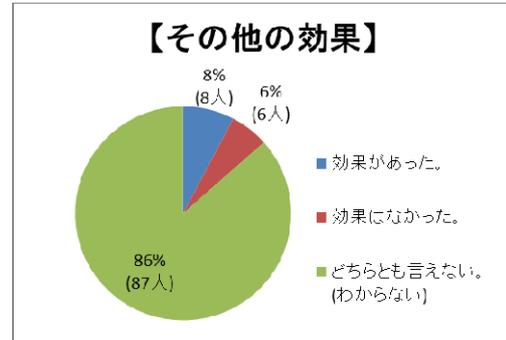


改善点の質問についての意見

【改善点がある】への意見

- 側溝の泥あげをしてほしい。
- 排水等の改善。

問13【その他の効果】 有効回答101



その他の効果の質問についての意見

【効果があった】への意見

- 長坂への連絡道として。

問14【その他の意見】 林道上十川大川原線について、その他の意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- 黒森地区から、浄仙寺を経て、上十川に出られたらもっと便利になると思い希望しています。幼い頃、山越えをして浄仙寺から長坂へ出た経験があるので、夢がかなえられたらいつも考えていました。
- 黒森山の道路と繋がるともっとよい。
- 観光道路としてもPRしたらいかがでしょうか。
- 大変だと思うが、維持管理をしっかりして欲しい。
- 浄仙寺の所からも1本道路が欲しい。
- 浄仙寺から上十川林道に繋がる連絡道があると我々にとって非常に便利になる。
- 浄仙寺からぬける道路が欲しい。
- 新しくできた林道を有効に活用する意味で浄仙寺側からも利用しやすい様に変えてみる必要があると思います。
- 林道を黒森が過ぎたあたりから(国有林が)すごいブナ林なのでどうにか出来ないか。

問15【その他の意見】 アンケート対象事業以外で、地区で実施を希望する公共事業がございましたら、お聞かせください。

- 南中野地区の林道を利用して、台風や大雨の後、林道が壊れて、車で通れない時もあるので、平らな道が欲しいです。
- もっと情報が全ての人が判る様に発信すれば良いと思います。知らない人も多いです。
- きちんとやってもらいたい。
- 道路がないと木材の価格が安くなる。

(別紙)

事後評価箇所状況写真

(1/3)

整理番号 H30 - 1

事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	箇所名等	上十川大川原線(黒石市)
-----	--------------------	------	--------------

① 起点(着手前)



起点(開設後)



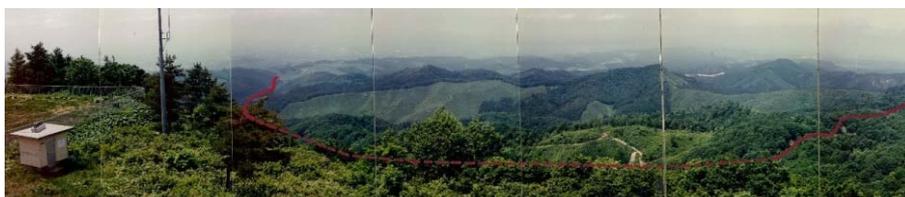
② 終点(着手前)



終点(開設後)



③ 起点側全景(着手前)



起点側路線(完成後)



事後評価箇所状況写真

整理番号	H30 - 1
------	---------

事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	箇所名等	上十川大川原線(黒石市)
-----	--------------------	------	--------------

④ 中間付近全景(着手前)



中間付近路線(完成後)



中間付近路線(完成後)



事後評価箇所状況写真

整理番号	H30 - 1
------	---------

事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	箇所名等	上十川大川原線(黒石市)
-----	--------------------	------	--------------

⑤ 終点側全景(着手前)



終点側路線(完成後)



終点側路線(完成後)



(別紙)

費用対効果分析説明資料

整理番号 H30 - 1

事業名	フォレスト・コミュニティ総合整備事業	箇所名等	上十川大川原線(黒石市)
-----	--------------------	------	--------------

【費用対効果の内容】

1. 費用対効果の算定根拠

『林野公共事業における事前評価マニュアル』平成28年版(編集・発行 社団法人日本林業協会)による。
本手引きは、森林整備、林道開設等の事業整備(総費用C)によってもたらされる、各種期待される効果(森林整備等を行うにあたり、本事業を実施した場合と実施しなかった場合の便益と費用の差)を便益(B)として評価するものである。

2. 森林整備(林道)事業に要する費用

- (1) 評価基準年度:平成25年度
- (2) 評価機関:61年(事業整備期間:21年、耐用年数40年)
- (3) 費用及び便益の現在価値:投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。

3. 総費用(C)の算定

総費用(現在価値)=2,517,924千円

区分	事業費	費用(現在価値)	主な内容
(1)本事業	1,654,090	2,517,924	事業期間内に本事業で実施する工事費・調査測量設計費等の合計
(2)関連事業	0	0	
合計	1,654,090	2,517,924	

4. 総便益(B)の算定

総便益=4,055,643千円

区分	事業費	主な内容
(1)木材生産等便益	2,237,706	路網整備によって木材生産等の経費が縮減される便益及び木材の生産・利用が増進される便益
(2)森林整備経費縮減等便益	1,811,346	森林整備に係る作業経費、治山経費及び森林管理等経費の縮減や、路網整備により森林整備が促進される便益
(3)森林の総合利用便益	2,846	森林の有する保健休養機能又は山菜等の副産物採取等の利用に当たって、森林への到達時間が短縮される便益及び費用が減少する便益
(4)その他の便益	3,745	
合計	4,055,643	

5. 費用対効果分析の結果

$B(\text{総便益})/C(\text{総費用})=4,055,643\text{千円}/2,517,924\text{千円}=1.61$

【参考】

区分	再々評価時	今回	増減
費用項目(C)	2,488百万円	2,517百万円	29百万円
便益項目(B)	4,724百万円	4,055百万円	669百万円
B/C	1.90	1.61	